

ピラクロニル・ベンゾピシクロン・ベンゾフェナップ粒剤 ピラクロエースジャンボ	取扱メーカー： O A T 原体メーカー： 協友アグリ， エス・ディー・エス， O A T
成分： ピラクロニル……………3.6% ベンゾピシクロン〔ピシクロオクタン系〕……………4.0% ベンゾフェナップ〔ピラゾール系 PRTR・2種〕……………14.5%	性状： 褐色粒状 水溶性バック入り 1バック50g
	毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】……………

- ピラクロエース1キロ粒剤／フロアブルの項参照。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。
- 畦畔から50gパックを10a当り10個均等に投げ込むだけで除草剤処理ができる拡散性に優れた初・中期一発型ジャンボ剤である。

【使用上のポイント】……………

- 共通注意事項の5，水稲除草剤散布 使用上のポイントを参照。
- ノビエの2.5葉期までに時期を失わないように散布する。
- 多年生雑草は生育段階によって効果にフレがあるので，必ず適期に散布する。

雑草名	散布適期
ホタルイ ミズガヤツリ ヘラオモダカ ウリカワ	2葉期まで
ヒルムシロ	発生期まで
オモダカ クログワイ	発生始期まで
アオミドロ・藻類 による表層はく離	発生前

- クログワイは発生期間が長く，遅い発生のものまでは十分効果を示さないので，必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて使用する。オモダカは，必要に応じて有効な前処理剤又は後処理剤と組み合わせて使用する。

【薬効・薬害等の注意】……………

- 共通注意事項の5，水稲除草剤散布 薬効・薬害等の注意を参照。
- いぐさの栽培予定田では使用しない。
- 適用作物（稲）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 適用外作物（いぐさ，れんこん，くわい）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 散布に当たっては，水の出入りを止め5～6cmの湛水状態に保つ。
- 藻やウキクサが多発している水田では，拡散が不十分となり部分的な薬害や効果不足を生じることがあるので使用をさける。

【安全対策上の注意】……………

- 破袋した場合には，カブレやすい体質の人は取り扱いに十分注意。
- 藻類に影響を及ぼすので，使用時は注意。
- 空袋等は適切に処理する。

【適用と使用方法】

作物名	適用雑草名	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法	本剤の 使用回数
移植水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ オモダカ クログワイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ アオミドロ・藻類に よる表層はく離	移植後5日～ ノビエ2.5葉期 但し、 移植後30日まで	小包装(パック) 10個 (500g)	水田に小包装 (パック) の まま投げ入れ る。	1回 ※
直播水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ヒルムシロ ミズガヤツリ	稲1葉期～ ノビエ2.5葉期 但し、 収穫90日前まで			

※ピラクロニルを含む農薬の総使用回数 : 2回以内

※ベンゾビシクロンを含む農薬の総使用回数: 3回以内

※ベンゾフェナップを含む農薬の総使用回数: 2回以内